



# みずほの丘の希望

令和6年12月3日  
第12号  
生徒数/404名  
文責/堀川博基

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

## 2024も…あと1カ月…

### 年始に誓った目標は叶えることができたか？ いいか…今年やり残したことは、 たいてい、来年もやり残すから…。

こんなに真っ赤な京都を  
見ることができるとは！  
君たちは…持っている！



「50-50」「裏金問題」「カスハラ」「新紙幣」に「Bling-Bang-Bang-Bom」…、2024 流行語大賞にノミネートされた流行語の一部だ。「和」「楽」「安」「明」「幸」…、昨年末に2024年がこのような漢字で表現できる1年であってほしいと期待を込めて選ばれた漢字だ。強い思いが込められたぶん、明るいイメージの漢字が多い。そんなイメージどおりの漢字となればよいのだが…。12月12日に京都・清水寺で今年の漢字が発表される…。2023の今年の漢字は「祝」であった。流行語大賞を覚えているか？。確か「あれ」でした…ね。時の流れの早さを感じつつも、学校を取り巻くこの1年を振り返ってみる。西中を含めて近隣中学生を観ると学校生活を力まずゆったりと送っていると言える。毎月の『みずほの丘の希望』に記しているよう、授業に、行事に、部活に…がんばっている。しかしながら「？」や「△」が私たちの脳裏をかすめた、危険や危機も感じた1年でもあった。

昨年度の『児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査【表1】』の概要が発表(11/1)された。広く報道もされているので記憶に新しい人もいるかも知れない。このデータから君たちは何を読み取る…？。思ったよりも「多い？少ない？」。全国ではこれだけの事案が発生している。このデータで最も懸念されるのは、その増加率だ。ほぼすべてにおいて激増と言っても過言ではない。またその特徴は低年齢化と凶悪化だ。■いじめの認知件数は右肩上がりだ。5年前と比較しても約1.5倍に増加し、確認数が最も高い学年は小2だ。もちろん認知件数増加の大きな理由として、法整備等により軽微な行為も見逃さなくなったというのがあると思うが…。本校でも、生徒同士の誹謗中傷や暴言、不快を感じる悪ふざけやからかい等が散見される。確実な早期発見・指導に努め、指導とともに家庭への協力も求めている。■暴力行為も増加している。特に小学生の暴力行為は10年前の約7倍だ。小70,009件、中33,617件、高5,361件、その様態として約8万件が「生徒間の暴力行為」であるが、「対教師暴力」も約1万3千件(うち小9,500件)発生し、ここ10年増加傾向がなくなる気配は見られない。■不登校の増加は止まらない。この数字は中学校において17人に1人が不登校であるという数字になる。【表2】に「不登校のきっかけ」となった状況を示すが、文科省は学校・家庭・個人の要素が入り交じり不登校をより複雑にしていると分析している。家庭だけ、学校だけ、個人のがんばり…だけでは、難しい問題であることを浮き彫りにしている。教育や学校への価値観も大きく変化しているのかもしれない。「学校は絶対に通わなくてはいけない所」と考える人が減少しているのも事実である。社会的、個人的な価値観が子供たちを翻弄しているように感じているのは私だけだろうか…？

生徒の問題行動について、いま大きな問題となっているのは SNS トラブル関連の課題だ。■Trend Micro の『スマホ利用実態調査【表3】』では「何かしらのトラブルを経験した小中学生」は32.5%となり、その内容も犯罪色が強くなっている。■もっと厳しく警察庁のデータを示すと…。10年前と比較して SNS 関連の犯罪事案について、子供たちが被害に遭う事案が1.3倍。性犯罪の最たるものである児童ポルノ事案での検挙数は約1.9倍、被害数においては約3.2倍にも達している。いつも犯罪の被害となるのは弱者である子供なのが明確となっている。■更に子供が被害者となった事案(1732件)の様態をみると、青少年保護育成条例違反(子供へのわいせつ行為等)/583件(34%)、児童買春/321件(19%)、児童ポルノ/658件(38%)と性にかかわる犯罪だけで91%となる。…つまり SNS に起因する子供の関わる犯罪は被害であっても加害(おじ活?パパ活?わいせつ画像の売り買い等)であっても、そのほとんどが性犯罪となる可能性があるということだ。

SNS に起因する犯罪として今、最も危険なのが「闇バイト」だ。警視庁発表の調査によると、R5年、闇バイトの代表格である受け子で逮捕された者の「受け子になった経緯は」①SNS(49%)、②友人紹介(28%)、③不明(12%)となっている。また検挙された受け子の5人に1人は10代であり、何と中学生も26人検挙されている。

ネガティブなデータばかりで申し訳ないとは思いますが…。全国的に増加している中学生の問題行動。県、市、そして本校も決して例外ではない。現状において「文科省によるいじめ重大事態」「対教師暴力」「児童ポルノ」「闇バイト」等は発生していないものの、友人同士のからかいやけんか(暴力行為等)、SNSでのトラブル(友人やそれ以外の人とも…)等も発生しているのは残念でたまらないが…事実である。ただ、学校として、生徒一人一人に今後の人生を正々堂々と生き抜いてもらうために、これからも「毅然とした指導」を曲げることはしない。時として警察や児相、法務局少年支援センター等と連携を図り、本気で生徒と向き合っていく。…子供の成長のためには、学校だけの指導ではまったくもって及ばない。家庭のご理解とご協力、そして子供を成長させようという「本気の姿勢」が絶対に必要だ。学校はいつでも相談に応じます。是非とも子供の異変に気がついたら、すぐに学校へご連絡をお願いします。一緒に解決しましょう！

12/5~7といよいよ修学旅行に出発します。まずは安全第一に、赤ジャミンまで楽しんできたいと思っています。今のところみんな元気ですが…油断大敵です。  
■職員室前の「リトル関西」…寺社のジオラマです。  
■修学旅行スローガン  
Dear future me 未来の私へ  
□行動力の未来 □協調性の未来 □好奇心の未来  
■修学旅行しおりです。  
表紙は八森衣吹さん、裏表紙は矢野実音さん、中の挿絵は磯部太壱さんの作品です。  
■今年は紅葉がびっぴり!? 嵐山の紅葉ピークは12/5頃だそうです。

	全国	埼玉県 (R4年度比/増加率)
いじめ	732,568人 (+50,620人/7.48%)	36,031人 (+1,118人/3.0%)
暴力行為	108,987件 (+13,561件/14.2%)	5,034件 (+605件/13.7%)
不登校	346,482人 (+47,434人/15.9%)	16,791人 (+2,681人/19.0%)

1	学校生活にやる気が出ない	4万2千人
2	生活リズムの不調	3万1千人
3	不安、抑うつ	2万9千人
4	親子の間わり	2万2千人
5	学業不振	1万9千人

■トラブルを経験した児童生徒 32.5%	
1	ネット・スマホ依存 34.3%
2	ネットいじめ 22.0%
3	金銭の受渡し・課金関係 18.4%
4	有害サイト 16.0%
5	スパム、迷惑メール 14.6%

	H25	R4
SNS 関連犯罪被害児童数 (人)	1293	1732
児童ポルノ事犯検挙件数 (件)	1644	3035
児童ポルノ被害児童生徒数 (人)	284	905

### 仕の掟 (じゅうのおきて)

- 一、年長者の言ふことに背いてはなりません
- 一、嘘を言ふことはなりません
- 一、卑怯な振る舞いをしてはなりません
- 一、弱者をいじめてはなりません
- 一、戸外で物を食べてはなりません
- 一、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません

「ならぬことは、ならぬものです」

\*会津の各町で、6~9歳くらいの子供の集まりを「仕」と言う。各「仕」の掟(きまり)であるが、仕毎に内容が多少異なる。最後の「婦人~」は、削除されている「仕」多々あった。

←会津藩校日新館(1803年)の『仕の掟』を読み返した。今の時?…という部分もあるが、その理念や気持ちはいつの時代も不変なものだと思っている…。子供たちにも、そしてその責任を背負う私たち大人にも…

